

令和5年度 学生支援プロジェクト事業 中間報告



国立大学法人香川大学学生総合防災無線局
「つなぐ」プロジェクト実行委員会

プロジェクト事業概要

本プロジェクト事業は、昨年度に引き続き、災害時の情報伝達や無線通信の重要性を大学や地域・社会に向け発信することを主たる目的とする。

災害時には有線通信が使用できなくなり、情報伝達が困難になる可能性がある。しかし、無線通信は生き残り情報を伝えることが可能。東日本大震災でも、多くの地域で有線通信が途絶えてしまった。そのような状況下でも、無線通信を用いてライフラインの寸断や救助要請等の重要な連絡通信を行ったことで、数々の命が救われた。

- 本事業は、以下の三項目を事業目標とします。
 - 災害時に不可欠である無線の重要性を『**発信**』する。
 - 災害時に不可欠である無線に関わる人員を『**育成**』する。
 - 災害時に不可欠である無線を『**活用**』する。



実施事業

• JR5YFW

• 無線局 運用

- すべての局員がアマチュア無線技士3級の免許を取得無線機の運用に慣れ親しみ積極的な人脈づくりに励む。

• CONNECT

- 学生危機管理連合

• 学内 連携

- 連合で協力し防犯パトロール隊のデジタル簡易無線による通信の支援活動を行う。

• SUPPORT

四国瀬戸内圏
災害通信連合

• 学外 連携

- 学外のアマチュア無線家と連携して災害時に備えて無線の訓練を行っている。
- HPを立ち上げ宣伝もしている。

• EMERGENCY
NETWORK

- 新規
プロジェクト

• ドローン

- アマチュア無線4級以上の資格が必要で
- 無線従事者の資格を取得する動機に繋げることに期待している。

• DRONE

防犯パトロール隊との連携 ～ 平時～



- ▶ ● 通信範囲の確認
 - 電波の届く範囲や天候によるデジタル簡易無線の通信範囲の確認
- ▶ ● 効率的な交信の実現
 - デジタル簡易無線機4台を用いることで従来よりも効率的な交信を実現。
- ▶ ● 有事の際に役立てる
 - 日頃から無線機を運用することで、災害時などの有事の際に役立てることが可能に

非常通信訓練



▶ 情報共有

- 無線局内で情報共有の手順を確認
- スムーズな情報の共有

▶ 実践的な交信

- 実際に疑似的な状況を報告することによる情報の整理方法の確認

▶ 非常時に向けての準備

- 災害時に動くために、常にしておく準備の再確認

これまでの活動とビジョン

これまで	1年目	無線局の開局
	2年目	無線局運用開始 局員募集
	3～5年目	学生危機管理連合創設 →防犯パトロール隊の無線運用支援（以降継続して） 四国瀬戸内圏災害通信連合創設 各イベントの参加
本年度	6年目	非常通信訓練の実施 アマチュア無線の運用 ドローンの実用方法の確認
これから	7年目以降	四国瀬戸内圏災害通信連合での 四国瀬戸内圏規模の広域連携 ドローンの実践的な運用

- 無線で人と人を
「つなぐ」

- 「つなぐ」プロジェクト
香川大学学生総合防災無線局

